

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	豊能町 (27321)
地域名 (地域内農業集落名)	牧 (牧)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	27.12 h a
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	24.18 h a
② 田の面積	24.59 h a
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	2.47 h a
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	3.65 h a
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	17.11 h a
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	h a
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	h a
(備考) 地域全体の農地面積 35.44ha	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

H22～24の府営ため池改修事業を機に農空間保全活動に取り組んでいる中で、H24年3月に牧農空間活性化協議会を設立し、翌H25年3月に牧地区農空間活性化計画を策定した。

H28年に地区で実施した将来の農地利用アンケート調査から、今後は高齢化等の理由により、大半が自己耕作が難しいとする状況が明らかとなり、地区内農地の耕作を継続していくためには、担い手確保の問題が課題となった。

その課題解決のため、H29年4月に「牧の農を考える会」を発足、営農計画や基盤整備計画の検討を重ね、牧地区農空間ビジョンを策定した。

農空間ビジョンでは、営農効率向上のためのほ場整備の必要性、地域全体で農業を支える法人設立が謳われた。

その後、このビジョンに基づき、土地改良事業（農地中間管理機構関連農地整備事業）の推進に取り組み、「牧のさとやま合同会社」を設立、それらを盛り込んだ人・農地プランを令和2年1月に策定した。令和4年度からは、ほ場整備工事が始まり、令和8年にかけて実施する予定である。

ほ場整備区域内の農地の担い手は、牧のさとやま合同会社であるが、ほ場整備区域外では今後の意向として後継者が不在・未定と回答されているも高く、新たな担い手の確保・育成が必要である。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

「元気いきいきプラン」に基づき、農地中間管理機構関連農地整備事業にて行ったほ場整備農地は、牧のさとやま合同会社が、水稻や高収益作物（ネギや春菊）を中心に営農、また観光農業にも取り組んでいく。
ほ場整備区域外では、水稻を中心に作付けしていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針					
ほ場整備エリアは、牧のさとやま合同会社を中心に営農をし、その他のエリアは新たな担い手の確保を模索する。					
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標					
現状の集積率	60.6	%	将来の目標とする集積率	32	%
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標					
ほ場整備区域外で農地賃貸等の権利移動が発生する場合は担い手になるべくまとまるようなるべく調整する。					

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
ほ場整備済み農地については、牧のさとやま合同会社が担う。その他の農地については、地域内の担い手と、とよの就農支援塾を始めとする新規就農者等を受け入れ、農地の集積・集約を図る。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
ほ場整備区域外農地について、就農希望者が現れたときは、受け手未定の農地を積極的に紹介し、農地中間管理機構を活用し、農地の利用権設定を行っていく。
(3) 基盤整備事業への取組
農地中間管理機構関連農地整備事業を活用し、ほ場整備を行っている。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
就農希望があった際は、町やJA、大阪府北部農と緑の総合事務所（農の普及課）と連携して、育成を行う。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ・多面的機能支払交付金を活用し、農空間の保全管理や獣害対策を行う。（①⑦）
- ・中山間直接支払交付金を活用し、集落営農のための農業用機械の導入や、農業用倉庫を建てる。（⑧）

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	1経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1：「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2：「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3：農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4：作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5：備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）		うち計画同意者数（人・%）	
-------------	--	---------------	--

注1：「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2：「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3：提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16年)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上の 表示	備考
1	認農 集 利用者 未定（赤色） 受託先未定（緑色） 今後検討（グレー）	畑作	0.39 ha	ha	畑作	0.39 ha	ha	1	
2		稲作	16.04 ha	ha	稲作	16.04 ha	ha	2	
3		稲作	0.11 ha	ha	稲作	0.11 ha	ha	3	
4			0.31 ha	ha		0.31 ha	ha	4	
5			0.35 ha	ha		ha	ha		
6		畑作（ハウス）	0.24 ha	ha	畑作（ハウス）	0.24 ha	ha	6	
7		稲作・畑作	0.24 ha	ha	稲作・畑作	0.24 ha	ha	7	
8		畑作（ハウス）	0 ha	ha	畑作（ハウス）	ha	ha		
9		稲作・畑作	0.25 ha	ha	稲作・畑作	0.25 ha	ha	9	
10		畑作	0.1 ha	ha	畑作	0.1 ha	ha	10	
11			0.2 ha	ha		ha	ha		
12		畑作	0.17 ha	ha	畑作	ha	ha		
13		畑作	0.08 ha	ha	畑作	0.01 ha	ha	13	
14		畑作	0.03 ha	ha	畑作	0.03 ha	ha	14	
15		稲作・畑作	0.62 ha	ha	稲作・畑作	0.62 ha	ha	15	
16		稲作・畑作	0.7 ha	ha	稲作・畑作	0.8 ha	ha	16	
17		畑作	0.03 ha	ha	畑作	0.03 ha	ha	17	
18		畑作	0.04 ha	ha	畑作	0.03 ha	ha	18	
19		稲作・畑作	0.5 ha	ha	稲作・畑作	0.48 ha	ha	19	
20		稲作・畑作	0.51 ha	ha	稲作・畑作	0.4 ha	ha	20	
21		稲作	0.73 ha	ha		ha	ha		
22		畑作	0.08 ha	ha	畑作	0.08 ha	ha	22	
23			0.28 ha	ha		0.28 ha	ha	23	
24			0.15 ha	ha		0.15 ha	ha	24	
25		未定（赤色）	0 ha	ha		3.65 ha	ha	25	
26		受託先未定（緑色）	ha	ha		ha	1.13 ha	26	
27		今後検討（グレー）	ha	ha		1.75 ha	ha	27	
合計			22.15 ha	0 ha		25.99 ha	1.13 ha		